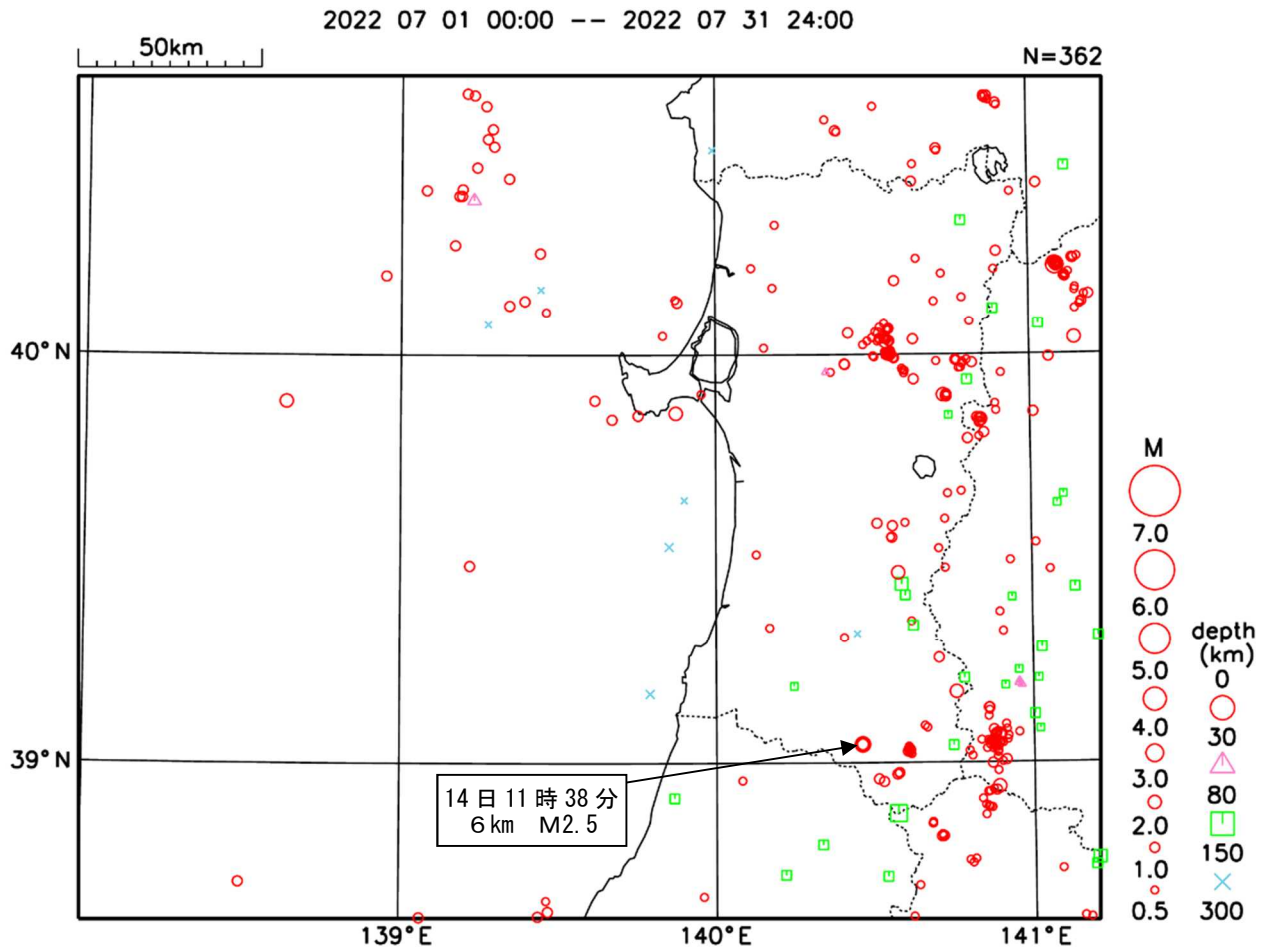


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2022年7月

【震央分布図】



〈7月の地震概況〉

この期間、秋田県とその周辺を震源とする地震は362回発生した。県内で震度1以上を観測した地震は4回（6月：1回）で、そのうち図の範囲内を震源とする地震が1回、図の範囲外を震源とする地震は3回であった。

6日05時10分に宮城県沖の深さ63kmでM5.4の地震が発生し、岩手県と宮城県で震度4を観測したほか、東北地方と関東地方及び新潟県で震度3～1を観測した。県内では、横手市で震度3を観測したほか、秋田市、湯沢市、大仙市などで震度2を観測するなど、広い範囲で震度2～1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

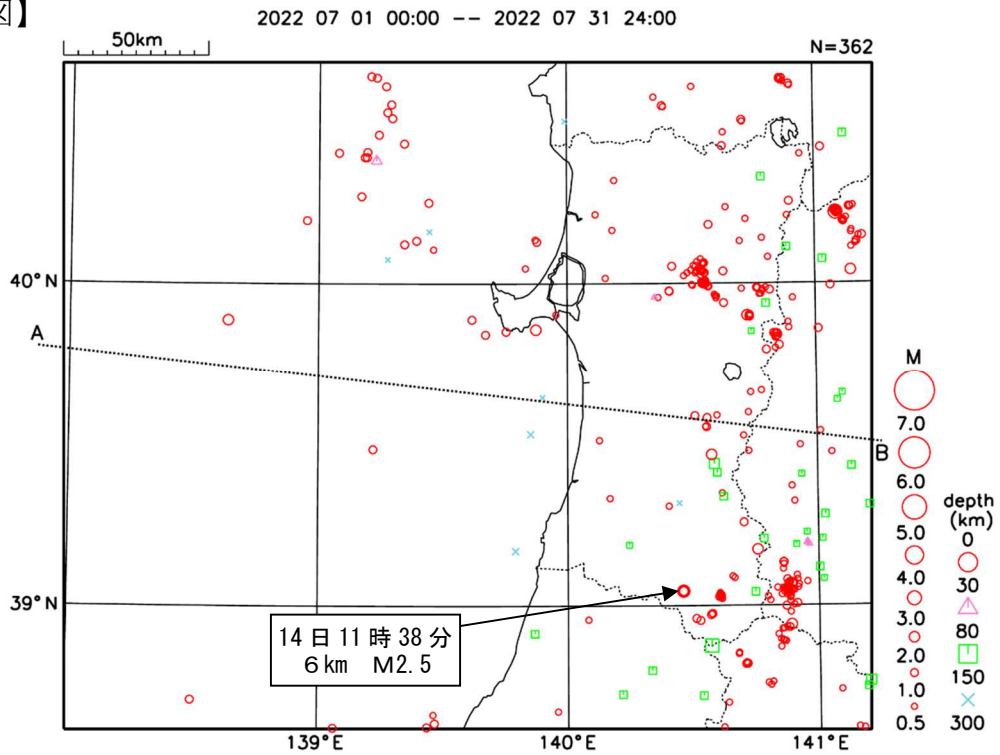
14日11時38分に秋田県内陸南部の深さ6kmでM2.5の地震が発生し、湯沢市で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

22日12時01分に青森県三八上北地方の深さ86kmでM5.3の地震が発生し、青森県で震度4を観測したほか、北海道、東北地方及び茨城県で震度3～1を観測した。県内では、大館市、北秋田市、横手市などで震度1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

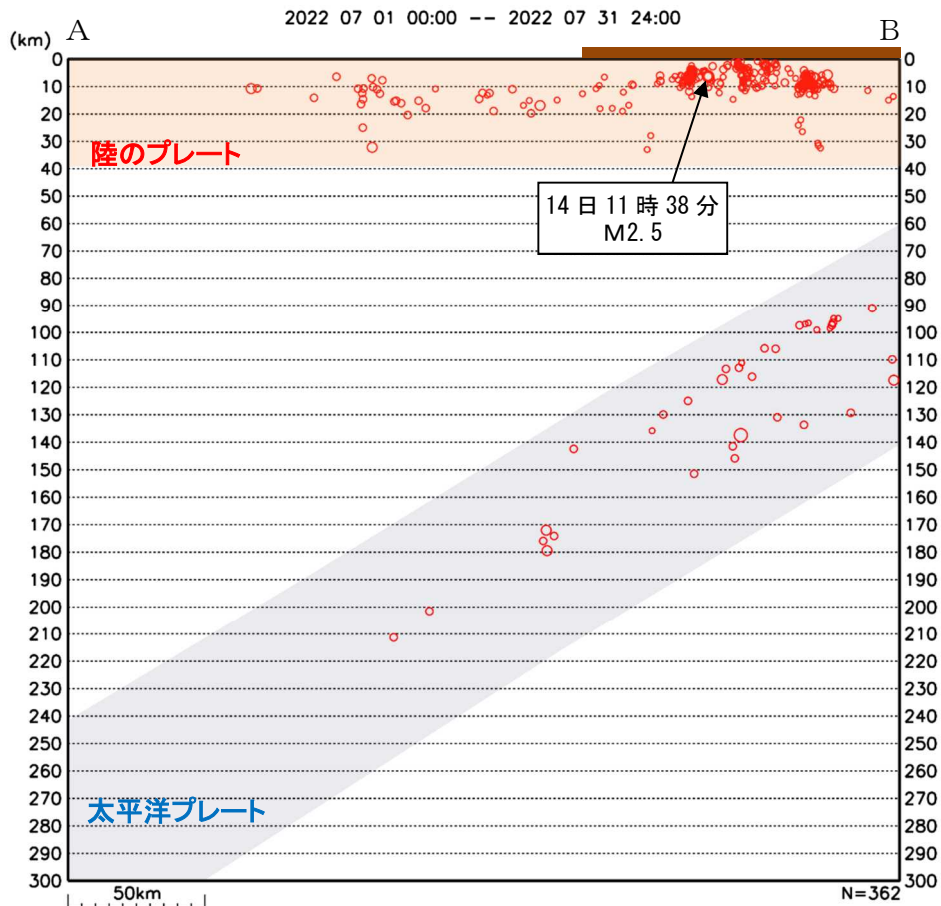
本件に関する問い合わせ先
秋田地方気象台ホームページアドレス

秋田地方気象台 TEL 018-823-8291
<https://www.data.jma.go.jp/akita/>

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A-Bを断面として投影した震源の深さの分布)



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ —— は陸地の大まかな位置を示している。
- ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。
 なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2022年7月1日～2022年7月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2022年07月02日10時59分	宗谷海峡	45° 49.1' N	142° 13.6' E	324km	M5.9
秋田県	震度 1：能代市二ツ井町上台＊ 三種町森岳＊ 大館市桜町＊ 大館市早口＊ 鹿角市花輪＊ 小坂町小坂砂森＊ 北秋田市花園町 北秋田市米内沢＊ 北秋田市新田目＊ 横手市大雄＊ 仙北市西木町上桧木内＊				
2022年07月06日05時10分	宮城県沖	38° 24.7' N	141° 57.2' E	63km	M5.4
秋田県	震度 3：横手市大雄＊ 震度 2：五城目町西磯ノ目 秋田市河辺和田＊ 秋田市雄和新波＊ 由利本荘市前郷＊ 横手市雄物川町今宿 横手市安田柳堤地内＊ 横手市中央町＊ 横手市大森町＊ 湯沢市沖鶴 湯沢市川連町＊ 東成瀬村椿川＊ 大仙市刈和野＊ 大仙市北長野＊ 大仙市南外＊ 大仙市大曲花園町＊ 大仙市高梨＊ 仙北市角館町中菅沢 仙北市西木町上桧木内＊ 仙北市角館町小勝田＊ 仙北市田沢湖生保内宮ノ後＊ 仙北市西木町上荒井＊ 震度 1：能代市上町＊ 八郎潟町大道＊ 井川町北川尻＊ 三種町森岳＊ 秋田市山王 秋田市雄和女米木 秋田市八橋運動公園＊ 由利本荘市石脇 由利本荘市鳥海町伏見＊ 由利本荘市岩城内道川＊ 由利本荘市西目町沼田＊ 由利本荘市東由利老方＊ 由利本荘市矢島町矢島町＊ 由利本荘市岩谷町＊ にかほ市平沢＊ 大館市桜町＊ 大館市早口＊ 北秋田市阿仁水無＊ 北秋田市新田目＊ 横手市増田町増田＊ 横手市山内土淵＊ 横手市平鹿町浅舞＊ 横手市十字町＊ 湯沢市寺沢＊ 湯沢市皆瀬＊ 湯沢市佐竹町＊ 湯沢市横堀＊ 羽後町西馬音内＊ 東成瀬村田子内＊ 秋田美郷町六郷東根 秋田美郷町土崎＊ 大仙市協和境唐松岳＊ 大仙市太田町太田＊ 大仙市神宮寺＊ 仙北市田沢湖生保内上清水＊ 仙北市田沢湖田沢＊				
2022年07月14日11時38分	秋田県内陸南部	39° 02.6' N	140° 27.5' E	6km	M2.5
秋田県	震度 1：湯沢市寺沢＊				
2022年07月22日12時01分	青森県三八上北地方	40° 33.0' N	141° 25.0' E	86km	M5.3
秋田県	震度 1：能代市二ツ井町上台＊ 藤里町藤琴＊ 八郎潟町大道＊ 井川町北川尻＊ 潟上市昭和久保＊ 潟上市天王＊ 三種町森岳＊ 秋田市河辺和田＊ 由利本荘市岩城内道川＊ 大館市桜町＊ 大館市比内町扇田＊ 大館市早口＊ 鹿角市花輪＊ 小坂町小坂砂森＊ 上小阿仁村小沢田＊ 北秋田市花園町 北秋田市米内沢＊ 北秋田市新田目＊ 横手市雄物川町今宿 横手市大雄＊ 湯沢市沖鶴 湯沢市川連町＊ 羽後町西馬音内＊ 大仙市大曲花園町＊ 大仙市高梨＊				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。

各地の震度は秋田県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

災害に備えよう！～9月1日は「防災の日」～

防災メモ

9月1日は「防災の日」です。これは、1923年（大正12年）に関東大震災が発生した日であるとともに、台風が多く襲来する時期でもあることから、地震や風水害等に対する心構えを育成するために1960年（昭和35年）に制定されました。また、「防災の日」を含む1週間（令和4年8月30日（火）～9月5日（月））までは「防災週間」となっています。

地震や津波等の自然災害は、いつ襲ってくるかわかりません。いざという時に適切な行動をとるためには、日頃からの訓練が重要となります。この機会に、地域などで行われる防災訓練に積極的に参加し、また、家庭や職場などで防災について話し合っておきましょう。

●地震への備えー地震から身を守るためにー●

- ・地震はいつどこで起こるかわかりません。常に自分の事として考え、いつどこで起きてもその場に応じた行動が出来るようにイメージトレーニングや対応行動の訓練をしておきましょう。
- ・地震の強い揺れにより、物が落ちたり、倒れたり、動いたりすることを想定しておきましょう。

地震に備える

○家具の固定

家具を固定しましょう。また、万が一倒れてきた場合でも、通路をふさがらないような配置を考えましょう。

○安全スペースの確保

室内になるべくものを置かない「安全スペース」（ものが落ちてこない・倒れてこない・移動しない空間）を作っておきましょう。特に寝室や廊下、玄関先など。

○備蓄・非常持ち出し品の準備

非常時の水・食料の備蓄や、非常用持ち出し品を準備しておきましょう。

○連絡手段の確認

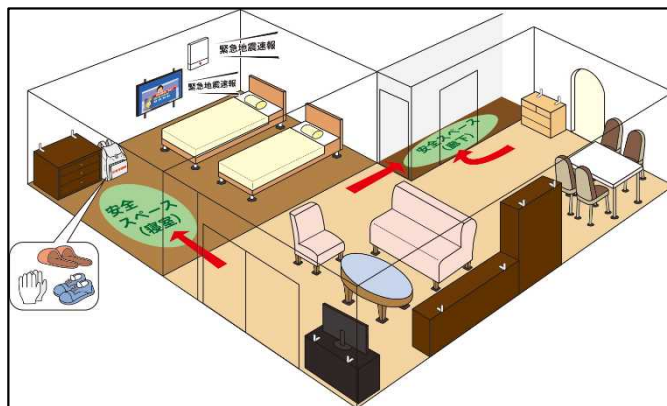
地震が発生したときの連絡手段や集合場所について、あらかじめ家庭で話し合っておきましょう。

○周囲の状況の確認

普段通る道に危険な場所や物がないか確認しておきましょう。また、地盤の弱い場所や地震によって地盤の緩んだ場所では、降雨などにより土砂災害が発生することがあります。前もって周囲の状況を確認しておきましょう。

○訓練に参加しよう

本当に地震が起こったときに、あわてずに身の安全を図ることができますか？積極的に訓練に参加しましょう。



安全スペースのイメージ

(資料:東京消防庁)

地震が起きた時の適切な対応行動例

地震の揺れを感じたら！

(緊急地震速報がなくても)

あわてず、まず身の安全を!!

緊急地震速報を見聞きしたら！

(地震の揺れを感じなくても)

○家庭では

- ・安全なスペースに避難する
- ・頭部を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- ・あわてて外へ飛びださない
- ・無理に火を消そうとしない



○屋外（街）では

- ・ブロック塀の倒壊に注意
- ・看板や割れたガラスの落下に注意



○エレベーターでは

- ・最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



○鉄道・バスでは

- ・つり革、手すりにしっかりとつかまる

